

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

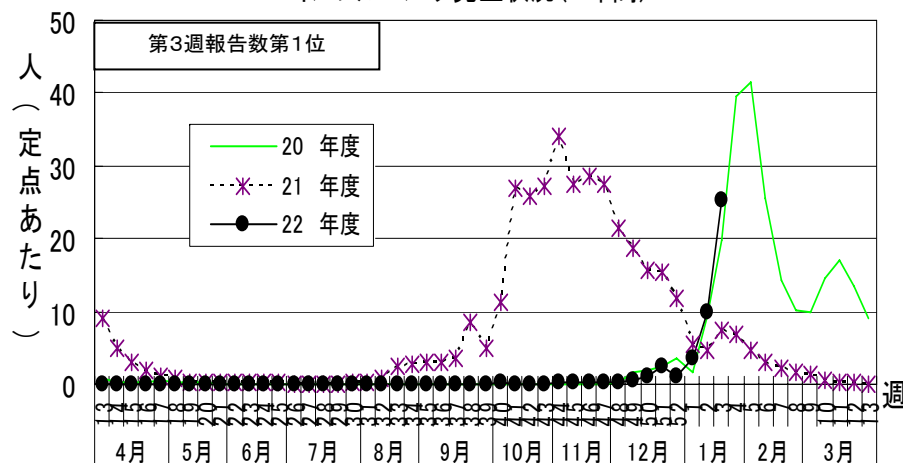


KAWASAKI CITY

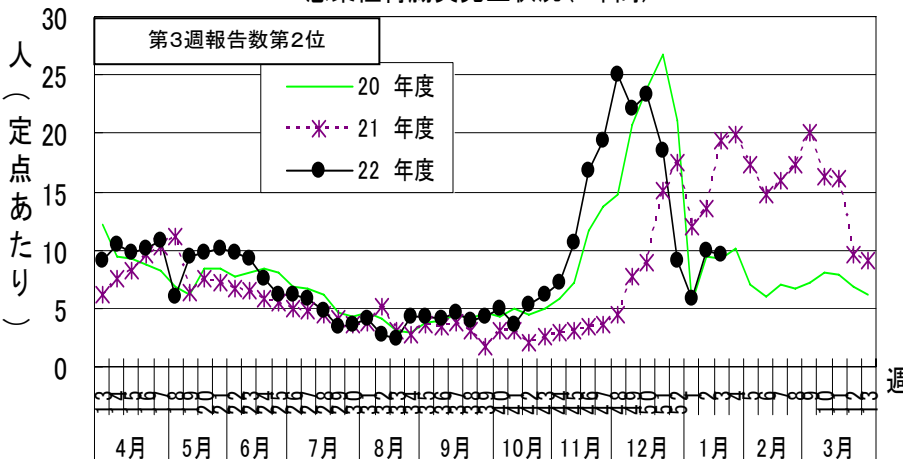
平成23年1月17日（月）～1月23日（日）〔第3週〕の感染症発生状況

第3週で報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザは定点あたり25.31人と前週（9.98）より患者報告数は大幅に増加し、流行発生注意報基準値（定点あたり10人）を超えましたので、1月25日に川崎市内にインフルエンザ流行発生注意報を発令しました。今後も流行が拡大することが推測されますので、発生動向に注目するとともに、インフルエンザの予防対策を徹底する必要があります。
 感染性胃腸炎は定点あたり9.52人と前週（9.88）より患者報告数は減少しておりますが、引き続き注意が必要です。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



川崎市内に『インフルエンザ流行発生注意報』発令！！

左のグラフにあるとおり、インフルエンザの患者報告数が3週連続で大幅に増加し、定点あたり25.31人と、流行発生注意報基準値（定点あたり10人）を大きく超え、流行発生警報基準値（定点あたり30人）に近いレベルで推移しております。

なお、次のグラフは1月25日14時把握分までの学級閉鎖等の報告をまとめたものです。第4週になってから報告数が増加しているため、特に集団生活の機会が多い小児においては予防策の徹底が必要です。

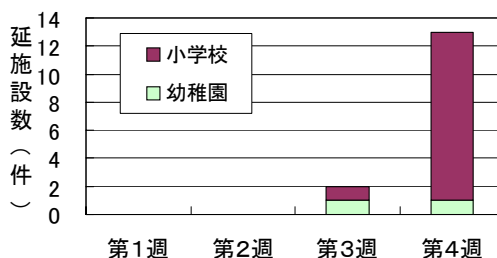
注意報・警報って何！？

「注意報」とは、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いことを指します。

「警報」とは、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを指します。



平成23年第1週以降
川崎市内の学校等の臨時休業実施状況



- 外出から帰ったら、必ず、手洗い、うがいをしましょう。
- ウイルスはどこについているかわかりません。外出したら、必ず手洗い・うがいをしましょう。
- 洗っていない手で、目や鼻、口を触らないように習慣づけましょう。
- 洗った手は清潔なタオルやペーパータオルで拭きます。
- せきやくしゃみをかけない「せきエチケット」をしましょう。
- せきやくしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。
- マスクを持っていない場合は、他の人から顔をそらし、ティッシュなどで口と鼻をおおきましょう。
- 鼻汁、痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱にすてましょう。
- せきやくしゃみを手で覆ったら、手を石鹸で丁寧に洗いましょう。

ピーク前にワクチン接種を受けましょう。

インフルエンザにかかった場合の重症化を防ぐ効果が期待できます。接種から2～3週間間で効果が現れますので、流行のピークを迎える前に、できるだけ早く接種を受けましょう。

